

城壁の石の中にある化石

今帰仁の城壁の建築に使われた灰色の硬い古期石灰岩の中には時々化石が見られます。古期石灰岩はこの地域でしか採れず、城の現地と付近から採石されました。すべての石灰岩はもともと、大昔は海底のカルシウムが豊富なサンゴ、貝殻、およびプランクトンの死骸でした。沖縄では、石灰岩はほとんどの城の壁に使われていたやや硬度の低いものから、ここ今帰仁で使われていたより年代が古く硬いものまでさまざまです。琉球の他の城では、琉球石灰岩を整形し隙間なく積んでいるところが多いのですが、硬い古期石灰岩ではそうするのが難しいため、ここでは石の自然の形状を利用する「野面積み（のづらづみ）」と呼ばれる簡単な方法で積まれています。城壁の石からは、このアンモナイトをはじめとする多くの化石が見つかっており、これらの石が海底に起源を持つことを証明しています。